



2011年9月25日  
八甲田地区  
パークボランティア連絡会  
第80号 会報

事務局(発行者) 阿部幸子  
青森市中佃 2-15-5  
Tel・Fax 017-741-8068  
E-mail  
[pv.0514@ruby.plala.or.jp](mailto:pv.0514@ruby.plala.or.jp)

九月二十二日、各地に大きな被害をもたらした



台風十五号も無事通過し、ほっとした気持ちでいる中、久々の青空を見上げてみると、秋の気配も一段と深まったように感じられます。残暑が厳しいとつい最近まで言っていたのに……

気まぐれな自然の振る舞いに体調を乱されていますか？

もうすぐ十月に入ります。がPV活動も残り少なくなってきました。

十月十九日(水)、環境省主催の十和利山自然観察会の下見に併せ、PV学習会を開催することにしました。(詳細は次ページの活動予定で確認願います)

「十和田湖を眺め、十和利山の紅葉を楽しみませんか？」皆さんの参加をお待ちしております。

…… 九月の活動報告 ……

「平成二十三年度PV合同研修会・交流会」

西館 留利子

今年のPV合同研修会・交流会の概要は次のとおりです。

九月三日(土)午後一時半、網張ビクターセンター集合。盛岡自然保護官事務所・田村自然保護官から、PV災害保険、自然とのふれあい活動における安全管理マニュアルについてのお話があり、続いて岩手山PV・渋谷氏(岩手大学教授)から「生物の多様性とPVに期待すること」と題しての講演がありました。

当日は雨のため野外研修は中止でしたが、網張ビクターセンターの展示物の説明の後、岩手山PVによるノーズヒントというとても楽しいゲームを行いました。(ヒントが まであり、 から順番に聞いて、途中で答えがわかれば鼻に指を当て、わかったよと合図するゲームで、動物・植物・昆虫と何でもつくれそうです)

交流会は4地区の活動報告と、オブザーバーとして参加した陸中海岸PVから3ニ(震災)の報告。以前、陸中海岸のPV交流会で野田地区の番屋を見学しましたが、津波により何も無くなってしまう映像を見て、何と言ったらいいのかわからない表現出来ません。

この後懇親会、開催地区挨拶、恒例のPVの自己紹介、そして自己責任において寝るまでフリー

タイム。部屋に戻らない人もいたらしい……。

今回は網張休暇村に宿泊、体に効きそうな温泉に入れて、しかも安価。

今年都合で参加できなかった方、来年は交流会に参加しましょう……よ。



【酸ヶ湯クリーン作戦に参加して】

小泉 富子

九月十四日（水）、酸ヶ湯集團施設地区運営協議会主催の活動に参加しました。前日まで雨が続きいた後でしたが、朝から清々しい秋空となりました。

九時、十和田自然保護官事務所の北橋首席自然保護官からご挨拶をいただいた後、各地域、各班に分かれての作業開始となりました。私はキャンプ場方面を担当しました。

公共駐車場から開始し、棟方志功のアトリエの館へ抜け、オートキャンプ場をひとまわりした後、城ヶ倉溪流入口の閉鎖口まで行き、それぞれ立ち止まりました。かつての城ヶ倉溪流の遊歩道が素晴らしい景観だっただけに「残念だ」とか「おしいな」等、つい言葉に出て、懐かしく思い出されました。公共駐車場もぐるりと丁寧に見回りました。

全体に目立って大きなゴミの放置はありませんでしたが、木の根元にペットボトルを隠して捨ててあったり、これ落し物？等もありました。各班とも予定時間より早目に終了となったので、IC玄関前の排水溝の鉄の網を上げ、溝をきれいに清掃しました。

登山道地区を担当された皆様、雨の後の悪路の中、大変お疲れさまでした。



地域総合展「十和田湖・八甲田山」

七月十五日～九月十一日の間、青森県立郷土館で開催された地域総合展「十和田湖・八甲田山」、皆さんも足を運ばれたでしょうか！これから会報で、主な展示内容を紹介していきます！と思います。

【北八甲田火山群の活動】（地域総合展から）

八甲田火山群は、活動時期や噴火様式の違いから南八甲田火山群、八甲田カルデラ、北八甲田火山群に分けられる。

南八甲田火山群は北八甲田火山群と比較すると、なだらかで、溶岩地形はほとんどみられず、河川による浸食で谷が深いという特徴がある。このことは、北八甲田火山群より、南八甲田火山群の形成時期が古いことを示している。また、北八甲田火山群は、八甲田カルデラ内の南東半部に形成されていることから、八甲田カルデラの形成時期が北八甲田火山群より古いことを表している。

北八甲田火山群の活動は、約四千万年前に八甲田カルデラ内で始まり、まず雛岳・高田大岳・田茂范岳・前岳・鳴沢台地が活動を始め、続いて約三十五万年前に仙人岳、三十万年前に硫黄岳・赤倉岳・大岳、二十五万年前に小岳、二十万年前に井戸岳が活動を始めたといえる。（八甲田山系の地図で、南・北八甲田山の地形の違いを比較してみてください）

： 十月の活動予定 ：

「八甲田山パトロール」

十月二日（日）

午前九時～午後二時半下山予定  
酸ヶ湯IC前集合

「井戸岳植生復元作業」

十月十二日（水）

午前八時半～午後三時下山予定  
酸ヶ湯IC前集合

「薬師沢・田代平ロープ撤去作業」

十月十六日（日）

薬師沢：午前九時酸ヶ湯IC前集合  
田代平：〃 八甲田温泉前駐車場  
参加出来る方はPV事務局へ

「酸ヶ湯協議会自然体験プログラム」

十月十六日（日）八時半～

PVサポート2、3名募集

（申し込みは七日まで事務局へ）

「十和田湖・十和利山自然観察会下見及びPV学習会」

二十二日の下見  
十月十九日（水）

午前九時半 迷ヶ平駐車場集合

「十和利山紅葉トレッキング～キノコから始まる森の恵み～」

（環境省主催）  
十月二十二日（土）

午前九時半 迷ヶ平駐車場集合

PVからサブ講師2名・サポート4名  
（申し込みは十三日まで事務局へ）



・ ・ ・ 環境省から ・ ・ ・

【井戸岳植生復元作業について】

十二日の活動は前回設置できなかった残りの実験区の設置と、今年度新設した実験区での植生調査を行う予定です（葉が散っている場合は植生調査はやりません）。紅葉の時期であり土日は混雑が予想されるため平日の活動になりますが、多くの方のご協力をお願いいたします。

・ ・ ・ 事務局から ・ ・ ・

紅葉シーズンを迎えるに当たり、十月は酸ヶ湯IC・窓口案内の強化を図りたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。十月十五（土）は高田が詰めます。当日パソコン・デジカメの簡単勉強会を行いますので、興味のある方、是非、ICまでおいで下さい。（花に興味ある方も）毛無岱木道用棧木運搬のお願いPV会員針生さんが提供してくれました。酸ヶ湯IC事務室に小分けにして保管してあります。ついでの際に毛無岱休憩所の下に運んでくれませんか？

皆さんも新聞・テレビ等でご覧になったかと思いますが、会員の猪股東策さんが、七月八月にかけて、北前船の復元船「みちのく丸」の航海スタッフとして協力しております。今回この貴重な体験について会報へ寄稿していただきましたので会員の近況便りとして紹介いたします。（猪股さん、お忙しい中、会報へのご協力、ありがとうございます）

【北前船・復元船「みちのく丸」】

猪股 東策

この夏、財団法人みちのく北方漁船博物館財団所属の北前船の復元船「みちのく丸」で、かつて北前船が航海していた日本海ルートを巡る海の旅をしてきました。「みちのく丸」は、北前船千石積（重量150トン）として平成十七年に九ヶ月かけて青森市で建造され、船体構造は一部を除いて忠実な復元ですが、航海に耐えられるようにと、現代の技術も用いられています。

主要目：全長32m・全幅8.5m・深さ3m・帆柱までの高さ28m  
主な使用材料：杉（樹齢150年・青

森県）・米松（樹齢150年・アメリカ・オレゴン州）その他、樺・楢・桐。また、帆柱樹齢200年の岩手県産の立ち木伐採を使用しています。

建造スタッフ：大型木造船建造の経験を持つ、岩手県七名、北海道四名、青森県五名の計十六名の船大工が建造を担当。

帆走実験：平成十八年五月から、青森セーリングクラブや海自に関する経験者他、ボランティアスタッフなどの協力で帆走実験と訓練をかさねました。

日本海航海：北前船日本海文化交流実行委員会が中心になって七月十三日から八月二十九日までの間、北海道小樽港から鳥取県美保関港まで、かつて北前船が辿った日本海ルートを航海しました。（私は、鳥取県美保関から山形酒田港まで回航と帆走スタッフとして乗船しました）

各県の新聞社が後援したこともあって寄港地での歓迎・イベントはとても熱心なものでした。また、寄港地ではかつて文化・経済的に多大な貢献があったこの北前船を見るまなざしに、特別なものが感じられました。

寄港：鯉ヶ沢港・深浦港・小樽港・美保関港・境港・泊港・小浜港・三国港・金沢港・伏木富山港・富山港・新潟港・酒田港・秋田港セリオン・秋田港船川、他。

現在みちのく丸は青森市沖館にある、みちのく北方漁船博物館に係留。岸壁からはいつでも見学できます。関心のある方は、ぜひ一度ご覧になってください。十月十五日には民放の「世界不思議発見」で放映される予定です。

